



「植物の力を信じてあげればいいんだよ」

校長 能登 正明

4月は暖かい日が多く、穏やかに新しい学年のスタートが切れたように感じています。明るい日差しの中、校門前に咲き誇る花や池の中のオタマジャクシとメダカの姿に、春の喜びを感じます。ちなみに、花壇の花苗の世話などは、ボランティアの方々も行ってくださっています。このような活動に興味のある方は、後日「学校支援ボランティア」のご案内がありますので、ぜひご応募ください。

大門小学校の自慢の一つに、地域の方にご提供いただいている農園での活動があります。学校の前にある広い農園で、一年を通して様々な作物を子どもたちが中心となって育てています。5・6年の委員会活動の中にも「農園委員会」があり、毎朝活動を行っています。

先日、農園の活動にご協力いただいている地域の皆様から、教職員にご指導をいただく研修会がありました。その中である教職員が、「畑への水やりは、一日のうちいつ頃したらいいのでしょうか。」という質問をしました。すると、地域の方からは、「畑では作物に水をあげたりはしないよ。畑の土は、自然の雨などで水分を蓄えているから平気だよ。」「根は水を求めて自ら伸びていくから、植物の力を信じてあげればいいんだよ。」と教えていただきました。

そのお話を聞きながら、このことは子どもたちを育てることに通じるように感じました。私たち教職員は、毎日子どもたちを前にして、どうしても「教える」ことを中心に考えてしまいがちです。しかし、子どもたち自身、学ぶ力や伸びる力をもっています。それにも関わらず、日々の教育活動の中で「水のやり過ぎ」、すなわち教え過ぎていることも多々あるのではないのでしょうか。植物が水を求めて根を伸ばしていくように、子どもたちも自分で伸びていく力があることを信じ、ときには見守っていくことも大切なことだと農園の協力者の方々のお話を聞きながら考えました。

4月の新しい学年や学級での生活の中、子どもたちは緊張したり、張り切ったりしながら毎日を過ごしてきたことと思います。もうすぐゴールデンウィークが始まります。ぜひ、疲れを癒しながら、安全に楽しく過ごしてください。一方で、連休明けの5月11日（火）までは、新型コロナウイルス「まん延防止等重点措置」実施期間となっています。子どもたちだけでなく、ご家族の皆様や地域の皆様も感染防止に十分ご留意してお過ごしください。

4月の教育活動の様子



着任式 始業式 4月7日(水)

2021年度の始まりの式です。新しい学級で着席した後、着任した職員の紹介をしました。次に、今年の全職員の紹介をしました。子どもたちは、緊張しながらも、期待に胸を膨らませた、明るい表情で式に参加する様子が見られました。



入学式 4月7日(水)

元気でかわいい1年生96名が入学してきました。新しい友達、新しい先生との出会いに、少し緊張しているようでした。入学式では、「さんぼ」の歌を元気いっぱいに歌い、大門小学校への仲間入りをしました。

6年生 1年生へのハッピーサポート

本校では、ペア学年活動を大切にしています。特に、入学したばかりの1年生の生活面をサポートする「ハッピーサポート」は、年間を通じて行っています。4月は、6年生が朝の支度や掃除の仕方を教えたり、手伝ったりしました。休み時間にも、やさしくふれ合う6年生の姿が見られます。1年生も、とてもうれしそうです。



1年生ようこそパーティー 4月22日(木)

全校で1年生を迎える会をテレビ視聴で行いました。昨年度から代表委員会で話し合っ準備をし、1年生が入学してくることを楽しみにしていました。各学年が用意したクイズや紹介動画を楽しみ、最後は校歌を歌って、全校で心をつなぐことができました。1年生を仲間に加えての、これからの学校生活が楽しみです。

健康・安全・安心のできる生活のために

本年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、様々な取組を行っています。毎日の検温のチェック、消毒や手洗い、マスクの着用を徹底し、健康で安全に学校生活を送れるように考えています。それと同時に、心のケアや仲間づくり、ソーシャルディスタンスなどを意識した授業の工夫なども行い、健康・安全・安心な学校を目指します。



登下校の安全強化WEEK

本校では安全で、マナーの良い登下校をめざして、年間6回の安全強化WEEKを設定しています。開門時間より早すぎる時刻に登校しないように知らせたり、安全な道路の歩き方ができるように注意を促したりしていきます。今回は、職員による下校時の見守りを行い、道路を広がって歩く子どもに声をかけました。今後も定期的実施し、定着を図ります。



大門小学校のESD

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

今年度も、大門小学校はESDの推進校として様々な取組を行っています。年度始めの活動では、農園委員会の子ども達が「持続可能な開発のための教育」を意識して農園活動を行い、楽しみながら頑張っている姿が見られました。また、子ども一人ひとりの意識を高めるために、校内にSDGsの視点を掲示したり、昨年度の総合的な学習の実践を掲示したりして、今年の活動につなげていきたいと思えます。





2021年度 委員会活動の紹介



いよいよ今年度の委員会活動が、本格的に始まりました。委員会は5・6年生の児童で構成されています。全校児童の学校生活が豊かになるように、SDGsも意識しながら、自分たちで活動を考えて進めていきます。

運営委員会	あいさつ週間をはじめとして、学校をよりよくするための企画について原案をつくったり、代表委員会の運営をしたりします。
飼育委員会	学校で飼育しているウサギを、大切に世話します。動物の命の大切さやすばらしさを伝えられるように、取組を考えて活動しています。
集会・交流委員会	1年間の集会活動の計画を立てます。全校の子どもたちが仲良く交流できるようにします。集まらなくても楽しめる内容を考え、集会の準備・運営をします。
環境・栽培委員会	大門小の環境に関わる活動について考え、全校に呼びかけます。校舎内外を清掃したり、正門や南門の周りを季節の草花でいっぱいにししたりして、きれいな学校をめざします。
給食委員会	給食に関わる活動に取り組みます。毎日クラスに配られる「ぱくぱくだより」を放送したり、給食週間などの内容を考えたりして、食の大切さを全校に伝えます。
保健委員会	保健室でけがをした人の手当ての準備を手伝ったり、流し台の石鹸を交換したりします。学校保健委員会の運営などを通して、学校のみながより健康になるように活動します。
体育委員会	校庭や用具の整備をし、体育の学習をするときに安全に使いやすくします。全校が楽しんで体を動かすことができる活動を行います。
図書委員会	図書室の本の整理や貸し出し・返却の受付をします。読書週間には、本をたくさん読んでもらうための取組を考えて、全校が本に親しめるような活動をします。
放送委員会	朝会や集会のときに放送機器の準備をします。朝の時間や休み時間、清掃の時間に放送したり音楽を流したりします。クラスインタビューなどの、番組を作成します。
農園委員会	農園に関わる活動に取り組みます。農園の整備や収穫祭の企画・運営などをして、農園活動を盛り上げます。

※ 委員会活動の内容は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、上の内容を制限して行っています。

児童相談員、校内及び児童セクハラ相談員

◇ 本年度の「校内セクシャルハラスメント相談窓口」は次のとおりです。ご相談事がありましたら、担当までお願いします。

【児童に関すること】

児童支援専任 西田 一樹
養護教諭 菅原由理恵

TEL 302-5631 (学校)

◇ 教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できます。

TEL 671-3726

(月～金 9:00～17:00 祝日・振替休日は除く)

特別支援教育コーディネーター

西田 一樹 齋藤 礼子

子育てやお子様の学習・生活の相談を受け付けています。お話を聞かせていただき、学校カウンセラー等、お子様に必要な支援を一緒に考えます。何かございましたら、お気軽にご相談ください。(学校：302-5631)

学校納入金、給食費について

★学校納入金は、6月7日に口座振替(横浜信用金庫)となります。納入する金額は、次のとおりです。

家庭数 7,615円 兄・姉在学 5,015円

※ 個別支援学級の学納金

家庭数 3,115円 兄・姉在学 515円

★給食費は、横浜市が徴収します。金融機関にて手続きを済ませていないご家庭は、至急手続きをお願いします。

★給食費、学納金で未納の方がいた場合、食材不足により十分な給食の提供が困難になったり、学年教材の購入に支障が出たりすることも考えられます。口座への入金を期日までにお願いします。

★事情により、支払いが困難な場合は、就学援助や学校納付金貸付制度もありますので、事務へご相談ください。就学援助の申請は、2月末まで随時受け付けています。

児童支援専任から



登下校の歩き方、放課後の過ごし方について、地域の方からご指摘をいただくことがあります。学校でも声かけを行っていますが、次の点についてご家庭でもお話してください。お願いいたします。

- ① 自分の通学路を守り、広がらずに歩く。
→4月の安全強化WEEKでも課題として受け止め、見守りを続けていきます。
- ② 自転車やキックボードなど安全な乗り方をする。
→瀬谷区内でもスピードの出しすぎや見通しの悪い交差点での接触事故などによる交通事故が起っています。
- ③ 公園内はたくさんの方が使用する場所であり、危険な遊びはしない。ルールを守って遊ぶ。
→公園にはお年寄りや小さなお子さんも過ごしています。周囲の状況を見て判断できるとよいです。